キャラクター名
稲葉　史成

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	ゼノス
オプショナル		年齢	42	性別	男
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	43 %
出自	人工生命	経験	秘密	邂逅	自身

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	6	0	0			6
精神	2	0	0			2
社会	0	0	1			1

HP	24
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	3		意志	1		調達		
運転：			芸術： 解剖			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光の銃	射撃	6r+1	0			攻撃力+[Lv+2]
攻撃60%	射撃	7r+15		10		コスト6
攻撃80%	射撃	8r+15		10		コスト6
攻撃100以上	射撃	9r+17		12		コスト9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ:情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
オリジナル	P　遺志	N　不安		
転生者	P	N		
セブンスナイトの	P	N		
シナリオロイス謎の女性	P　興味	N　恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト;エンジェル	2	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果： C値-lv								
リフレックス	2	2	リアクション	至近	自信			
効果： C値-Lv（下限7）								
神の眼	1	1	リアクション	至近	自信	対決		
効果： 〈知覚〉でドッジを行える								
水晶の眼	5	1	Mj/Ra	至近	自身	自動		
効果： ダイス+Lv個（ドッジも可能）								
ミラーコート	5	3	セット	至近	自身	自動		
効果： シーン中、ドッジのダイス+[Lv+2]個								
ミラーイメージ	2	4	セット	至近	自身	自動	80↑	
効果： ラウンド中ドッジのC値を-1する(下限6)。攻撃力-5、1シナリオLv回								
光の銃	3	2	セット	至近	自身	自動		
効果： このシーンの間、武器を生成。								
エフェクトレンズ	3	1	マイナー	至近	自信	自動		
効果： そのメインプロセス間、エンジェルエフェクト武器の攻撃力+[Lv+2]								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動		
効果： 衝動判定D+LV個								
オリジン:プラント	7	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 感覚達成値+lv*2　【14】								
罪人の枷	9	3	メジャー	武器	単体	対決	100↑	
効果： 攻撃が命中した際、そのラウンド間の対象の判定の達成値を-[Lv*2]								
猟犬の鼻	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 匂いを見分けることができる。								
ウサギの耳	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 10キロ以上の音を聞き分けることができる								

稲葉　史成(いなば　ふみなり)
UGNエージェントにして、チルドレンの教官を担っている男性。一人称:俺、わたし　二人称:君、あなた
家族:朱美(あけみ)-嫁-UGNエージェント-36-FHの破壊工作に巻き込まれ死亡、要(かなめ)-息子-UGNチルドレン-10歳-同上、仍美(なおみ)-娘-UGNチルドレン-13歳-同上。
口調は冷静で淡々と喋るので、能面と言われている彼だが、UGN内での評価はそこそこに高かく、さらにチルドレンへの面倒見が良かったせいか、教官を任されていた。
彼は多くのエージェントを輩出させ、そのためか、FHから狙われることが度々あった。命をいつ落としてもおかしくない状況で生きていた彼は、自分のクローン(レネゲイドビーング)を作ることにした。UGNの仕事を一時休止した彼はクローン生成の研究に勤しみ、人と接触することから遠ざかっていく。そして3年の歳月を経て彼はクローンの生成に成功し、クローンに自分のデータをバックアップさせた。しかしこの3年間の裏で、FHは彼がUGNから離れている情報を取得し、彼への工作をしていた事を、まだ稲葉は知る由もなかった。
UGNに復帰した彼は、FHが新型兵器を研究しているとの報告を受け、調査任務とチルドレンの情報収集の訓練も兼ねて、指定されたFHセルの調査に赴くのだった。そこでセルのある市のUGN支部のエージェントの協力の下、チルドレン達の訓練をしていた最中にFHエージェントの襲撃に遭う。混乱の中、彼は必死にチルドレンを守りながら迎撃をするも、虚しく敗北する。実はこの作戦自体が、彼を殺すための罠であり、FHが工作をしていたことが分かったのは、チルドレンを全て殺され、彼が殺される前に協力者を謳ったFHエージェントのスパイから明かされた時だった。
同時刻に、彼が所属している支部がFHのスパイによって爆破された。使用された爆弾が報告に上がっていた新型兵器によるもので、オーヴァードの再生能力を封じ込めるという恐ろしい効果を持っていた。さらに爆破を合図に畳み掛けるように、FHの強襲部隊が支部に攻撃を開始する。それにより支部は半壊、支部としての機能は停止、そして多くの犠牲者を出す結果となった。
支部が再建され、この事件の原因を調べていくと、容疑者の中に稲葉の名前が上がってきたのだ。監視カメラには、FHスパイと会話している場面が多くあり、爆弾が入っていると思わしき小包を受け取った場面も記録されていた。他にも彼が至る所に小包を置いている場面も監視カメラには写されていたため、UGNは彼(に見せかけたFHスパイ)がなんらかの理由で関わっていると判断したのだ。
数週間後、行方不明となっていた稲葉が姿を現したと報告を受けたUGN支部は、彼を捕縛対象として指名手配し、行動したのだった。
セブンスナイトより2年前の出来事